

2024年度(令和6年度)学校評価自己評価表

駅家中学校区	校番 21	福山市立駅家中学校
最終更新日		2024年(令和6年)4月1日

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>各学校が特色ある教育活動を推進している。活動のねらいや内容も明確となっている。今後も学校と地域がより連携し、地域人材の活用、地域貢献等、地域の教育力を活かしながら児童生徒の主体的な探究学習を推進してほしい。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>○全国学力調査では、全国平均を下回っている。低学力の子どもが多く、学力定着に課題がある。</p> <p>○児童生徒は地域への愛着があり、地域の方々との交流や地域貢献活動に意欲的に取り組むことができる。</p>	<p>育成する力 21世紀型「スキル&倫理観」</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p><中学校> 思考力 コミュニケーション力・協調性 意志決定力・志</p> <p><小学校> 課題発見・解決力 コミュニケーション力 挑戦する力</p> <p>○日常生活の中に課題を見つけ出し、自分の知識を総動員して答えを導き出す。</p> <p>○他者との関係を協調的に築きながら、自分の考えを発信し、仲間と課題解決する。</p> <p>○自分の人生を切り開き豊かな未来を創ろうと見通しや展望を持ち自己決定する。</p> <p>○「主体的な学びによる思考力・判断力・表現力の育成」を研究テーマとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力調査の分析から課題をつかみ具体的な手立てを研究し、授業改善を進める。 ・自分の考えや思いを持たせ、相互交流の中で考えや思いを深める、全員参加の授業づくりを目指す。
---	--	--	---

III 自校

<p>ミッション</p> <p>社会の変化に対応し、自らの進路を切り開き、豊かな人生を送ろうとする意欲の醸成</p>	<p>学校教育目標</p> <p>「自律」「寛容」「志」</p> <p>～自ら考え行動し、仲間と共に、未来を切り開く～</p>	<p>育成する力 21世紀型「スキル&倫理観」</p> <p>思考力</p> <p>コミュニケーション力・協調性</p> <p>意志決定力・志</p>												
<p>現状</p> <p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおむね落ち着いた学校生活を送っているが一部の生徒が落ち着きがなく授業に集中できていない。 ・将来の夢や目標を持っている生徒が70%である。 ・自分の意見や思いをはっきり表現できる生徒が70%である。 <p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業がわかるできる」85%、「授業で考えることはおもしろい」81%、「授業で解決しようとする課題について、なでだろう、やってみたいと思える生徒」74%と主体性を持たせた展開になっていない。 ・1分間スピーチによって、「自分の気持ちや意見を伝えている」72%、「友達の意見や気持ちを理解している」71% スピーチをする意義や方法等の指導内容を検討することが必要である。 ・「毎日楽しく学校に通っている」87%、「毎日安心して学校に通っている」91% 学校が安全で充実した生活の場となるようにしていく必要がある。 	<p>めざす子ども像</p> <table border="1"> <tr> <th>低</th> <td>○身近な問題に対して疑問を持ち、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力</td> <td>○自分の役割に責任を持つ力 ○自分の考えを伝える力</td> <td>○学級・学年や家族の一員であることを自覚し、主体的に学ぶ力</td> </tr> <tr> <th>中</th> <td>○地域や社会の問題に対して、持っている知識を関連付けて考え、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力</td> <td>○自分の役割や言動に責任を持ったり、助け合ったりする力 ○自分の考えを伝え、相手の考えを比較しながら聞く力</td> <td>○学校や地域の一員であることを自覚し、主体的に学んだり難しいことにもチャレンジしたりする力</td> </tr> <tr> <th>高</th> <td>○様々な問題に対して、持っている知識や経験等をフル活用して考え、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力</td> <td>○自分の役割や言動に責任を持ち、共感的に聴きながらアイデアや知識を共有し深める力</td> <td>○地域・社会の一員であることを自覚し、持続可能な社会に向け、主体的に学んだり困難に立ち向かったりする力</td> </tr> </table>	低	○身近な問題に対して疑問を持ち、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力	○自分の役割に責任を持つ力 ○自分の考えを伝える力	○学級・学年や家族の一員であることを自覚し、主体的に学ぶ力	中	○地域や社会の問題に対して、持っている知識を関連付けて考え、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力	○自分の役割や言動に責任を持ったり、助け合ったりする力 ○自分の考えを伝え、相手の考えを比較しながら聞く力	○学校や地域の一員であることを自覚し、主体的に学んだり難しいことにもチャレンジしたりする力	高	○様々な問題に対して、持っている知識や経験等をフル活用して考え、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力	○自分の役割や言動に責任を持ち、共感的に聴きながらアイデアや知識を共有し深める力	○地域・社会の一員であることを自覚し、持続可能な社会に向け、主体的に学んだり困難に立ち向かったりする力	<p>研究</p> <p>テーマ 「主体的な学びによる思考力・判断力・表現力の育成」 ～仲間と見通しをもって協働する学びの時間を創造する～</p> <p>内容等 興味・関心を引き出す単元課題と、ねらい・意図を明確にした協働学習の場の設定 自己調整力を育む単元構成の工夫</p>
低	○身近な問題に対して疑問を持ち、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力	○自分の役割に責任を持つ力 ○自分の考えを伝える力	○学級・学年や家族の一員であることを自覚し、主体的に学ぶ力											
中	○地域や社会の問題に対して、持っている知識を関連付けて考え、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力	○自分の役割や言動に責任を持ったり、助け合ったりする力 ○自分の考えを伝え、相手の考えを比較しながら聞く力	○学校や地域の一員であることを自覚し、主体的に学んだり難しいことにもチャレンジしたりする力											
高	○様々な問題に対して、持っている知識や経験等をフル活用して考え、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力	○自分の役割や言動に責任を持ち、共感的に聴きながらアイデアや知識を共有し深める力	○地域・社会の一員であることを自覚し、持続可能な社会に向け、主体的に学んだり困難に立ち向かったりする力											
めざす授業の姿	<p>(1) 対話のある授業(教材との対話・自分との対話・他者との対話)</p> <p>(2) 教科の面白さに迫る授業(生徒が問いを考える、生徒にとって取り組みたい題材がある)</p> <p>(3) 人間関係が深まる授業</p>													

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立駅家中学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)			
							□指標に係る取組状況	70%以上達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	70%以上達成評価	総合評価	改善方策
2	主体的で対話的な学びを通じた、学力の定着	★	継続	主体的に学びに向かい、粘り強く学び続ける授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 教材研究に視点を置いた研究や研修を推進することで授業づくりの充実に努める。 考える必然性のある課題を提示し、全教職員が主体的・対話的で深い学びのある授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業内容はよくわかる」90%以上 各種調査の市平均以上 全国学力学習状況調査、学力の伸びを把握する調査、実力テスト 							
2	生徒がいきいきと学べる学校づくり		継続	一人ひとりとの承認欲求が満たされる集団づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員が児童生徒への肯定的評価を積極的に行う 児童会、生徒会を中心として生徒が企画・運営する活動を増やしていく。 不登校生徒への対応の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 「学級内では、お互いの考えや意見が認められていると思う」90%以上 「先生は、自分のことを見てくれている」95%以上 不登校生徒出現率が全国平均以下(諸課題集計表) 							
2	保護者・地域に信頼される学校づくり		継続	地域・保護者の満足度を高める	<ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携など迅速で丁寧な対応を行う。 HPを用いた情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 「安心して通っている」生徒90% 「安心して通わせている」保護者90% 							
2	教職員が元気で、生徒に向き合える学校づくり		継続	業務改善によりやりがい達成感を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 「業務の見える化」を工夫し計画的に効率よく業務に取り組めるようにする。 教材研究・生徒交流により、教職員としてのやりがいや達成感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連項目の教職員アンケートの肯定的回答を80%以上 							

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]	
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度 十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度 概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度 ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度 あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度 目標を達成できなかった。